

平成 27 年度 外部及び内部学校評価

# 年間評価

## 平成 28 年 2 月

アンケート集計と達成目標数値に基づく評価

- 1 学校運営の充実
- 2 学習指導の充実
- 3 進路指導の充実
- 4 生徒指導の徹底
- 5 教育環境の整備
- 6 部活動の充実と振興

福島県立喜多方東高等学校

## 平成 27 年度 外部及び内部学校評価の集計結果(2月)

### ●年間学校教育評価票(アンケート)集計対象と回収状況

アンケート対象	対象人数	配付数	回収数	回収率	備 考
生 徒	315	299	299	100%	
保護者	315	311	141	45.3%	
教職員	24	24	24	100%	

### ●年間評価

#### ★1 学校運営の充実

◇アンケート評価：【総合=4.0】（中間評価=4.0） (アンケート項目番号 年間評価 中間評価)

・学校運営の活性化に努める。	……………	(教 員 1	4.1	4.0 )
・地域との連携強化を図る。	……………	(教 員 2	3.9	3.8 )
・P T Aとの連携強化を図る。	……………	(教 員 3	4.0	4.0 )
・不祥事防止に努める。	……………	(教 員 4	4.6	4.5 )
・本校にはよい校風がある。	……………	(生 徒 2	3.9	4.0 )
・学校は、教育目標や教育方針をわかりやすく伝えている。		(保護者 1	3.9	3.9 )
・本校のP T A活動は活発である。	……………	(保護者 5	3.8	4.0 )

#### ◇達成目標数値評価

◎PTA 総会及び学級懇談会の出席率(%)：5割程度を達成目標値4とする。

		P T A総会出席				学級懇談会出席			
		1 学年	2 学年	3 学年	総 計	1 学年	2 学年	3 学年	総 計
平成 26 年度	在籍	122	98	132	352	122	98	132	352
	出席	73	49	80	202	72	35	73	180
	率%	59.8	50.0	60.6	57.4	59.0	35.7	55.3	51.1
平成 27 年度	在籍	108	115	93	316	108	115	93	316
	出席	48	35	39	122	59	36	43	138
	率%	63.9	43.5	60.2	55.4	54.6	31.3	46.2	43.7
達成目標値 4 (%)		50.0				50.0			
評 価		4				4			

◎PTA 新聞の発行回数：年 2回を達成目標値 4とする。

	P T A新聞の発行数
平成26年度	年 2回
平成27年度	年 2回
達成目標値 4	年 2回
評 価	4

◎PTA 活動状況：委員会活動等他校と比較して本校の活動が普通であれば達成目標値3、他校比較して活発であると認められる活動や実績等があれば達成目標値4とする。

	P T Aの委員会活動等で、本校のP T A活動が活発であると認められる活動や実績等（他校でも通常行っている活動除く）
平成26年度	朝のあいさつ運動（3回） 進路指導学習会（3回 6・7・7月） 花壇づくりによる美化運動（2回 春・秋） 祭礼補導（2回） 広報誌の発行（2回） すずかけ祭P T A食堂運営（10月）
平成27年度	朝のあいさつ運動（6・8・10月 3回） 進路指導学習会（7月 2回） 花壇づくりによる美化運動（6・10月 2回） 祭礼補導（6・8・10月 2回） 広報誌の発行（8・3月 2回）
達成目標値4	学校の教育環境の向上に積極的に取り組む
評 価	4

#### ◇評価項目以外の主な取り組み

- ・学校評議員会（年3回、外部評価の実施等）

◇総評：P T A総会の出席率は、昨年度を若干下回った。授業参観のみとか資料だけ取られて帰られる保護者の方々が、何人かでも総会に興味関心を持ってもらい足を運んでもらえればありがたい。総会後の講演会も子供に関する興味深いものを考え開催しているので、多くの参加を今後も期待したいところである。P T A役員の方々の協力により学校の中が活性化され生徒たちも生き生きとして学校生活を送れる環境にさせていただいている。広報誌の発行においても毎年2回発行しているが、担当の方々が夜遅くまで編集に時間を費やし素晴らしい内容の広報誌を作成されていることに感謝したい。

## ★2 学習指導の充実

◇アンケート評価：【総合=3.8】（中間評価=3.9） （アンケート項目 年間評価 中間評価）

- ・自ら学ぶ意欲の向上を図る。……………（教員5 3.4 3.5）
- ・基礎学力の定着・向上に努める。……………（教員6 3.7 3.9）
- ・分かる授業の実践を推進する……………（教員7 4.0 4.0）
- ・教職員の研修の充実を図る。……………（教員8 3.6 3.7）
- ・授業満足度を高める。……………（教員9 3.8 3.7）
- ・授業はわかりやすく充実している。……………（生徒3 3.6 3.7）
- ・分からないことについて、先生に質問しやすい。……………（生徒4 3.6 3.6）
- ・私は授業中私語をしたりせず、積極的に授業に参加している。（生徒9 4.0 4.1）
- ・私は遅刻などせず、朝の読書をきちんと行っている。……………（生徒10 4.4 4.5）
- ・先生は子どもの能力や努力を適切・公平に評価している。（保護者6 4.0 4.0）
- ・子どもは、授業がわかりやすいと言っている。……………（保護者9 4.1 3.9）

#### ◇達成目標数値評価

◎成績優秀者数及び欠点科目所持者数：過去2年の実績を参考に達成目標値4を設定する。

	1 学 期		2 学 期		年 間	
	成績優秀者数	欠点科目所持者数	成績優秀者数	欠点科目所持者数	成績優秀者数	欠点科目所持者数
平成25年度	59	55	31	67	40	30
平成26年度	59	55	41	71	36	15
平成27年度	49	31	39	51	2月時点では集計 できていない	
達成目標値4	60	45	40	55		
評 価	3	5	3	4		

◎皆勤者数、欠席者数、遅刻者数、早退者数

	1 学 期				2 学期迄の累積				年間(1月末まで)			
	皆勤者数	欠席延数	遅刻延数	早退延数	皆勤者数	欠席延数	遅刻延数	早退延数	皆勤者数	欠席延数	遅刻延数	早退延数
平成25年度	141	577	369	141	85	1750	977	354	77	2461	1289	444
平成26年度	164	492	277	84	96	1850	980	363	90	2134	1177	423
平成27年度	135	348	149	87	80	965	526	316	70	1189	699	375
達成目標値	148	400	225	70	80	1420	790	295	70	1730	950	345
評 価	3	5	5	3	4	5	5	3	4	5	5	3

達成目標値 皆勤者、各学年 20 名以上 欠席・遅刻・早退 10%減（対前年度比）に設定。

◎自習時間数

	1 学期	2 学期迄の累積	年間(1 月末まで)
平成25年度	88	237	260
平成26年度	108	230	236
平成27年度	65	183	189
達成目標値	97	207	212
評 価	5	5	5

達成目標値 前年度の 10%減に設定

◎学校図書の一人平均貸出冊数

	1 学期	2 学期迄の累積	年間(1 月末まで)
平成25年度	0.5	0.7	0.8
平成26年度	0.8	1.3	1.4
平成27年度	1.1	1.5	1.6
達成目標値	4.0	5.0	10.0
評 価	2	2	2

達成目標値 10冊を5に設定

◇評価項目以外で、本校で行っている主な取り組み

- ・朝の 10 分間読書活動（月～金、8:30～8:40）
- ・基礎力テスト（漢字・英単語・数学）年 5 回
- ・チャイム to チャイムの励行
- ・情報処理室での授業（実技）を T T により実施
- ・ALT の配置

◇総評：授業に関する項目について、教員・保護者の受け止め方と生徒の実感との間に若干の差が見受けられる。授業に関する質問事項についての保護者からの評価は概ね良好であるが、生徒たちの授業に対する評価は中間評価時点よりも数値が下がっている。保護者の評価には学習に前向きな生徒、理解力の高い生徒の声が大きく反映されていると推測される。一方で学習に不安や悩みを抱えている生徒の実感が、生徒の授業評価には現れていると思われる。学習内容理解度や学習意欲の二極化傾向も懸念されるので、成績中位～下位の生徒の学習意欲向上や基本定着に視点を当てた授業実践の工夫が必要だと思われる。もちろん、そのような生徒の実感の背後に基礎学力の定着不足があることは事実なので、基礎学力向上の取り組みも新たな側面から検討してみたい。

例年に比べて生徒の不登校の事例が少なく、欠席者、遅刻者の延べ人数は昨年よりも大幅に減少した。その割には早退者の数は見込みよりも多いのが気にかかる。特定の生徒の出席状況が改善されない例も見られるので、日頃から生徒の生活状況を観察するとともに、学校以外でも健全な生活が送れるように継続して指導を進める必要がある。

### ★3 進路指導の充実

### \*自己実現を図る

◇アンケート評価：【総合=3.8】（中間評価=3.8）

（アンケート項目 年間評価 中間評価）

- ・個に応じた進路指導の充実に努める。……………（教 員 10 4.0 4.0）
- ・3年間を見通した進路指導の一層の充実に努める。……………（教 員 11 3.6 3.6）
- ・キャリア教育を推進する。……………（教 員 12 3.8 3.5）
- ・学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。……………（生 徒 6 3.9 3.9）
- ・学校は進路に関して、家庭への適切な情報提供を行っている。（保護者 3 3.7 3.8）

#### ◇進路希望の推移とその結果

		大学・短大・専門	就 職 ・公務員	進学浪人・他	未決定	在籍数
平成 25 年度	4月希望数	90	45	0	3	138
	9月希望数	86	50	1	0	137
	確定数	84	48	1	0	137
	確定%	97.7	96.0			
平成 26 年度	4月希望数	85	47	0	0	132
	9月希望数	77	52	1	0	130
	確定数	72	52	1	0	130
	確定%	93.5	100			
平成 27 年度	4月希望数	56	37	0	0	93
	9月希望数	61	31	0	0	93
	確定数	55	29	1	8	93
	確定%	90.2%	93.5%			
評 価		3				

（確定率は9月の進路希望をベースに算出した）

◎進路未決定者は年度末までに0人となるよう鋭意努力する。

#### ◇評価項目以外に本校で行っている主な取り組み

- ・小論文講座(2, 3年希望者、夏季休業中・1, 2年希望者、冬季休業中)
- ・進学課外の実施(1～3年)
- ・各種模試の実施（小論文、進研模試、学研実力診断テスト、看護・医療、公務員、就職）
- ・各種検定試験の実施（英語検定、漢字検定、数学検定、ワープロ検定、  
情報処理 技術検定 毛筆検定）
- ・進路講演会(6月、10月)
- ・インターンシップ(2年生希望者、3日間の職場体験)
- ・就職ガイダンス（2, 3年就職希望者）
- ・地元企業見学会（1, 2年希望者）
- ・コミュニケーション能力育成講座（1年）
- ・進路ガイダンス（学年対応）

◇総評：2月中旬現在、進路決定率は例年に比べてやや低めである。公立大学、短大等の一般受験まで頑張る生徒がいることを考えると、進学希望者の未決定数は不思議ではないが、今年の求人数の増加を考えると、就職において未内定者3名という数字は大きい。授業に臨む態度、課題等提出期限の厳守、遅刻や欠席を含めた生活全般に対する指導の必要性を感じる。

また、進学希望者、就職希望者とも基礎学力の低下が著しい。義務教育段階での取りこぼしが、その後の積み重ねの難しさに繋がっている。全く家庭で学習しない生徒の割合も年々高くなっており、

家庭学習の習慣付けや学び直しの必要性が感じられる。普段の学習への取り組みこそが一番の進路対策だという認識が必要である。

しかしながら、今年は県立医科大学看護学部合格者をだすなど学校全体での進路指導が実を結んだことは嬉しい限りである。後輩にとっても、我々教員にとっても大きな励みである。生徒一人一人の可能性を見いだしながら、細やかな進路指導を行っていききたい。

#### ★4 生徒指導の徹底 \*規範意識の高揚を図る \*思いやりの心を育む

◇アンケート評価：【総合=4.1】（中間評価=4.1） (アンケート項目 年間評価 中間評価)

- ・積極的な生徒指導の充実に努める。…………… (教員 13 4.3 4.3 )
- ・基本的な生活習慣の確立を目指す。…………… (教員 14 4.0 4.0 )
- ・規則の遵守とマナーの指導に努める。…………… (教員 15 3.9 3.8 )
- ・安全教育の徹底を図り、事故防止に努める。…………… (教員 16 4.1 4.0 )
- ・学校生活は楽しい。…………… (生徒 1 4.1 4.0 )
- ・悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。…………… (生徒 5 3.6 3.7 )
- ・私は礼儀をわきまえ、時と場に応じた言葉遣いをしている。… (生徒 11 4.4 4.4 )
- ・私は服装や髪など身だしなみに気をつけて学校生活を行っている。… (生徒 12 4.5 4.4 )
- ・学校は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる。… (保護者 2 4.0 4.0 )
- ・先生は生徒の間違った行動を厳しく指導している。…………… (保護者 7 4.1 4.2 )
- ・子どもは学校に行くのを楽しみにしている。…………… (保護者 8 4.3 4.2 )

#### ◇達成目標数値評価

◎特別指導事故発生件数：前年度発生件数を参考に達成目標値4を設定する。

総数目標として前年の80%を達成目標値4とする。

特別指導件数及び人数	学期別								学年別						男女別	
	1学期		2学期		3学期		年間		1学年		2学年		3学年		男	女
年度	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	人数	人数
平成25年度	3	7	4	4	0	0	7	11	4	8	1	1	2	2	4	7
平成26年度	9	12	2	7	1	1	12	20	6	11	6	9	0	0	18	2
平成27年度	2	3	3	8	0	0	5	11	0	0	4	9	1	2	3	8
評価	3		2		4		3									

#### ◇評価項目以外で本校で行っている主な取り組み

- ・非行防止講話（喜多方警察署）：情報モラル・青少年の非行及び地域の現状について
- ・夏季休業事前指導：非行防止について、万引き防止について
- ・制服着こなしセミナー（制服業者）
- ・服装・髪に関する指導
- ・登校指導（年6回）
- ・遅刻指導（毎朝）図書部の「朝の読書」との連携
- ・校外補導（主に定期考査中）
- ・自転車の防犯に関する指導（自転車登録、2重ロックの徹底等）
- ・交通関係の指導（「4+1ない運動」、自転車乗車マナー等、事故発生後の対応等）
- ・JR乗車マナー指導（年間2回）
- ・自動車学校入校説明会（3学年）
- ・スクールカウンセラーによる教育相談（月2回程度）

◇総評：今年度は女子の特別指導件数が増加し、同じ生徒が複数回に渡って指導を受けている。高校生としての心構えや社会の一員としての自覚、規範意識等について、校内の指導体制を強化するとともに、保護者と連携した協力体制を整える必要があると思われる。また、2件の交通事故や、わいせつ被害等の多発から、関係機関との連携を密にした安全に関する指導を十分に行っていききたい。昨年度より増加傾向にあった、クラスメイトと上手くコミュニケーションを図れない生徒、不安やストレスを適切に解消する方法を見つけられない生徒に対しては、担任・養護教諭・スクールカウンセラーが連携して指導にあたり、改善されたケースも見られた。しかし、原因が家庭環境にある場合については、多くの時間と専門的知識が必要であり、今後も課題となっていくことが予想される。基本的な生活習慣の確立と「自分の身を自分で守る」という観点から取り組んでいる遅刻指導、服装・頭髮に関する指導などには一定の効果が見られたことは、生徒一人一人の意識の向上と、教職員の継続的な指導が結びついた成果であると感じている。

## ★5 教育環境の整備

◇アンケート評価：【総合=3.8】（中間評価=3.7） (アンケート項目 年間評価 中間評価)

- |                        |       |         |     |       |
|------------------------|-------|---------|-----|-------|
| ・清潔、整頓、美化の習慣化を図る。      | …………… | (教 員 20 | 4.0 | 3.8 ) |
| ・施設設備の計画的充実を図る。        | …………… | (教 員 21 | 3.6 | 3.5 ) |
| ・学校の施設や設備など環境は満足できる。   | …………… | (生 徒 7  | 3.6 | 3.6 ) |
| ・学校の施設・設備は学習環境面で満足できる。 | …………… | (保護者 4  | 3.9 | 3.9 ) |

◇評価項目以外で本校で行っている主な取り組み

- ・PTA協力による校門付近の環境美化（花壇づくり）
- ・生徒会との連携による美化活動（ボランティア清掃等）

◇総評：校内美化活動のための清掃用具の補充や、ゴミ分別用のゴミ箱の設置など、事務部の協力により設備は整ってきている。また、インフルエンザ感染予防の観点から、加湿器を設置して頂いた。教育環境の基本である教室内の湿度を快適に保つために積極的に活用していききたい。昨年度一部の教室でみられた暖房器具の吹き出し口の変形・破損等はほとんどなかった。全体的に校舎内の施設・設備の破損等は年々少なくなっている印象である。トイレトペーパーの持ち出しや、ゴミの未分別といった、公共施設の利用マナーの徹底について、清掃指導とあわせて今後も継続した指導に努めていきたい。

## ★6 部活動の充実と振興

◇アンケート評価：【総合=4.0】（中間評価=4.0） (アンケート項目 年間評価 中間評価)

- |                            |       |         |     |       |
|----------------------------|-------|---------|-----|-------|
| ・部活動を奨励し、活動促進に努める。         | …………… | (教 員 17 | 3.9 | 4.1 ) |
| ・部活動を通し、生徒の人間的成長を図る。       | …………… | (教 員 18 | 4.3 | 4.1 ) |
| ・部活動の環境整備に努める。             | …………… | (教 員 19 | 3.6 | 3.8 ) |
| ・私は積極的に部活動や生徒会活動に参加している。   | …………… | (生徒 8   | 4.0 | 3.9 ) |
| ・子どもは、積極的に学校行事や部活動に参加している。 | …………… | (保護者10  | 4.3 | 4.3 ) |

### ◇達成目標数値評価

◎インターハイ県大会出場部数、県大会上位入賞部数、東北大会・全国大会出場部数

：県大会出場部数 8、東北大会以上出場部数 2 を達成目標値 4 とする。

\* 団体・個人いずれでも男女いずれかが出場すれば部数としてカウント。県大会出場 9，東北大会以上 3 を 5 とする。

	県大会出場部数	東北・全国大会出場部数
平成25年度	○ 8 (2)	● 2 (1)
平成26年度	◇ 8 (3)	◆ 3 (0)
平成27年度	△ 6 (3)	▲ 3 (0)
達成目標値	8	2
評 価	3	5

※表中の( )内は 3 位以内入賞部数を表す。

○ 8→陸上、卓球、ソフト、ボート、バレー、バスケット、バドミントン

◇ 8→陸上、卓球、弓道、ボート、バスケット、バレー、ソフト、バドミントン

△ 6→陸上、卓球、弓道、ボート、バレー、ソフト

● 2→陸上、ボート

◆ 3→陸上、卓球、ボート

▲ 3→陸上、卓球、ボート

### ◇評価項目以外で本校で行っている主な取り組み

- ・生徒活動の活性化のための外部講師招聘（茶道、華道）
- ・音楽部：入学式・卒業式・オープンスクール等での演奏
- ・高文連大会への参加（書道、美術、演劇）
- ・各公募展への出品（書道、美術）
- ・ボランティア活動への取組（家庭クラブや音楽部による施設訪問）
- ・音楽部演奏会の新設

### ◇総評：

クラス減に伴う部活動の改廃によって野球部、弓道部、茶道部、美術部は今年度をもって廃部が決定している。一方、存続が決まった部活動においても部員数の減少によって通常の活動が困難になりつつある部が出てきている。この部員不足を常態化させないために、部活動を辞めてしまった 1、2 年生、部活動に加入していない 1、2 年生への勧誘が必要である。I 期選抜 A 方式（運動能力測定）は今年度より廃止となってしまったが、新 2，3 年生においては同方式により入学した生徒も少なくない。新年度、彼らの奮起に期待し、運動部を中心に学校が活性化することが望まれる。